

人財育成

社会課題の背景

少子高齢化にともなう労働人口減少により、今後人財の獲得競争が激化することが推測されています。また、世界は、5G、IoT、ロボット、人工知能(AI)、ビッグデータなどの最先端技術をあらゆる産業や生活に取り入れる持続可能な超スマート社会(Society 5.0、第四次産業革命など)の創造へ向かっており、企業には科学技術イノベーションの創出が期待されています。

このような社会のサステナビリティ課題解決に“オリジナル&ハイレベル”な商品とサービスで貢献するアンリツにとって、それらを生み出す人財の獲得、確保、育成は重要な経営課題です。

方針

企業価値の源泉は多様な人財資本であり、アンリツのように技術力をコア・コンピタンス(強み)とする企業にとって、技術革新をリードできる人財の採用と育成は経営の基本です。

国内アンリツグループでは、社員が仕事を通じた組織への貢献感や自らの成長を実感しながら、組織の成果に向かって生き活きと働けることが重要だと考えています。この考えのもと、国籍や性別などにこだわらない多様な人財の採用計画の立案、社員の自発的成長を支援する教育研修体系の整備を継続的に進めています。

体制

アンリツ(株)の人事総務総括執行役員のもと、人事総務部門および国内アンリツグループの人事部門が、採用計画や教育研修体系を企画し、アンリツの事業とグローバル社会の発展に貢献する人財育成を行っています。

2017年度からアンリツ(株)の人事総務統括執行役員を委員長とする採用委員会を立ち上げ、採用方針や実施計画を審議しています。委員である事業部門の役員および幹部職との議論を通じて、求められる人財の継続的な量的・質的確保に取り組んでいます。

また、2014年度から各部門の担当役員と人事総務部の間で実施している人財に関する意見交換会では、人財育成を主要テーマの一つとして取り上げ、教育研修体系の改善・整備に役立てています。

中長期目標

■ 採用

- ・新卒一定人数の獲得
- ・海外採用の継続

■ 教育研修

- ・自己啓発支援プログラムの拡充
- ・次世代経営幹部職候補向け研修の改善

人財育成

取り組み/活動実績

■ 採用

アンリツ(株)は、国内新卒定期採用の選考プロセスで、会社側の期待と学生の皆さまの期待を確認し合う場として、面接に多くの時間を費やしています。限られた時間ですが、対話を通して相互理解を深め、マッチングを図っています。対話重視の選考プロセスを経て入社した新卒社員の3年以内離職率のここ3年の推移は0～5.9%で、厚生労働省発表の製造業20%前後、事業規模別(500人～999人)29%程度と比べ、低い水準を維持しています。

アンリツ(株) 国内新卒定期採用実績

	2018年4月	2017年4月	2016年4月
新卒採用実績(人)	27 (男性22、女性5)	17 (男性11、女性6)	17 (男性14、女性3)

アンリツ(株) 新卒3年以内離職率

単位：%

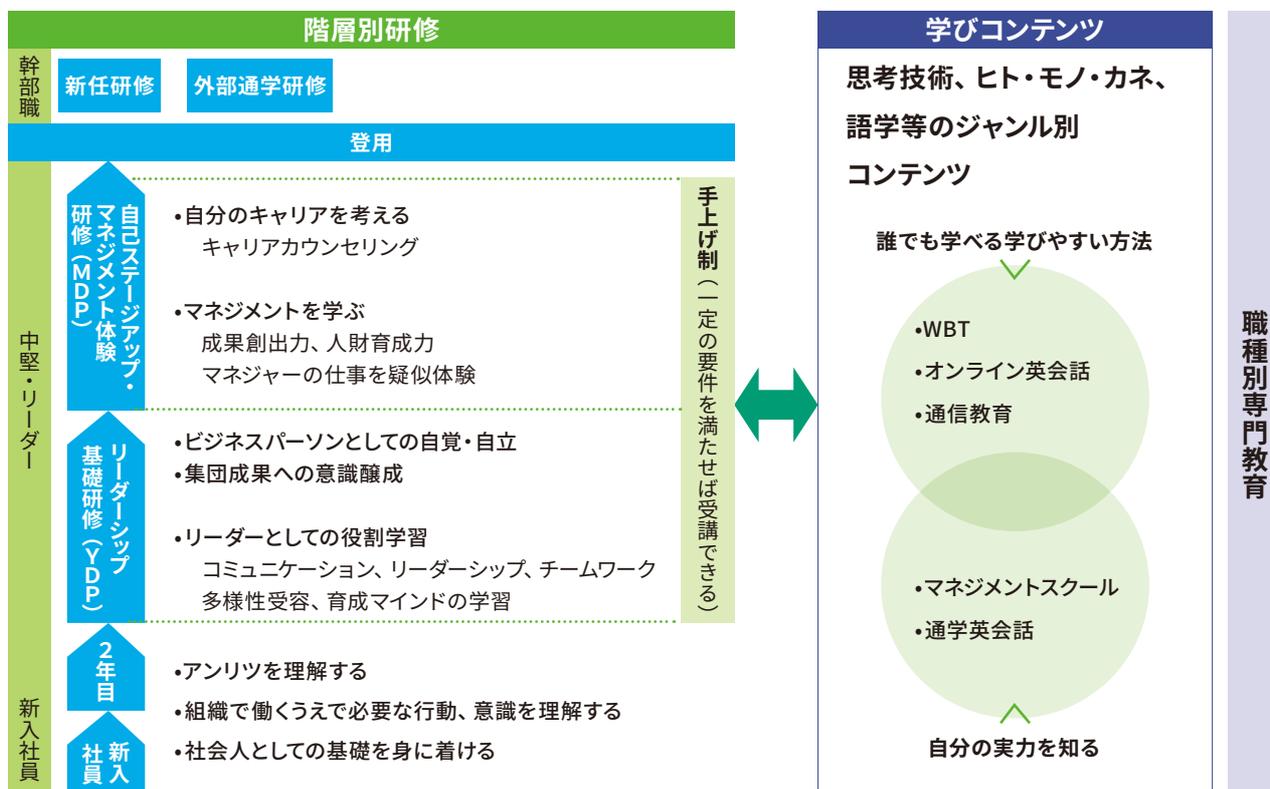
2014年4月入社	0.0
2015年4月入社	0.0
2016年4月入社	5.9

外国籍社員の活躍については「人権と多様性の尊重」(P.40)をご参照ください。

■ 教育研修

アンリツは、OJT(仕事を通じた教育)と教育研修プログラムの両輪で社員の育成を図っています。OJTでは代々培ってきたスキルや経験を受け継ぎ、教育研修プログラムで自己研鑽・自己啓発に励みます。

2017年度には、「自ら選択し、自ら学ぶ～希望すれば、学びたいときにいつでも受講できる～」、「自らの実力・強みを知る」の基本コンセプトに沿って、従来の通信教育講座と集合研修を見直しました。国内アンリツグループ共通の人財育成プログラムとして、社員のライフスタイルに合わせたキャリアアップを支援しています。



人財育成

・階層別研修

2017年度に従来の研修を「リーダーシップ基礎研修」「自己ステージアップ研修・マネジメント体験研修」と再定義し、内容を見直しました。2018年度は従来宿泊で実施していた研修の一部に日帰り型を導入するなど、ライフワークバランスに配慮したより参加しやすい形態を推進しています。

・自己啓発プログラム(学びコンテンツ)

2017年度、通信教育講座は、WBTオンライン英会話/通学講座などコンテンツを拡充し、新たな自己啓発プログラム「学びコンテンツ」としてリリースしました。受講申し込み数は2016年度から約3倍に増加しました。2018年度からは、より高いレベルのプログラムとして、通学英会話を追加しました。今後も社員の自ら学ぶ環境の整備、拡充に努めていきます。

学びコンテンツ 延べ申込件数の比較

名称	旧コンテンツ		リニューアル後の 学びコンテンツ	2016⇒2017 延べ申込件数の増加率
	2015	2016	2017	
国内アンリツグループ全体	127件	169件	547件	224%
アンリツ(株)	59件	81件	313件	286%

・新入社員向け研修の改善

新入社員教育については、従来からのコンセプトの一つである「組織で働くうえで必要な行動、意識を理解する」を、より強化することを目的として、2019年度にグループワークを見直しました。実践に即した体験ワークにより、仕事を疑似体験するとともに、各人がリーダーシップを発揮したうえでのチーム成果意識の醸成を図りました。



新入社員研修グループワーク

・次世代経営幹部職候補育成

サクセッションプラン(経営幹部の選抜・育成システム)については、従来からの選抜メンバーのマネジメントスクールへの派遣に加え、各経営幹部が部門方針に従った育成が図れるような、教育メニュー(選択肢)の提供を検討しています。

■ グローバル人財育成

国内アンリツグループは、計測事業をはじめとして海外への事業展開を進めています。その海外事業を推進する人財の育成が、これからのアンリツグループの成長にとって最も重要な課題の一つです。グローバル人財育成では、語学力の底上げにとどまらず、グローバルに働くマインドの醸成も重要であると考えています。

新入社員教育では、海外ビジネス経験が豊富な社員から代表的なプロジェクトの体験談を聴く場を設けており、新入社員は、国内外関係者との連携の重要性や海外ビジネスのポイント、面白さなどを学び、多くの刺激を受けています。

また、直接海外経験を積んでもらうために、駐在員も積極的に派遣しています。海外実務を通じた語学力向上や異文化理解促進に加え、海外人脈形成にも役立っています。

人財育成

■ 計測事業のグローバルトレーニング

海外拠点から約100名の参加者を招き、計測事業のグローバルトレーニングを実施しています。このトレーニングは、アンリツグループの海外拠点で計測ビジネスを担うセールスエンジニアが一堂に会し、新製品や現行製品の機能、市場分析、アンリツのソリューション、サクセスストーリー、デモのノウハウ、販売戦略、製品ロードマップなど、多岐にわたる研修を受けることができる内容となっています。参加者は、座学による新たな知識習得に加えて、実機を操作することによってセールスポイントを把握し、デモの進め方を学ぶなど、実践に役立つスキルを習得しています。今回はアンリツデバイス(株)も加わり、デバイス製品についてもトレーニングしました。



市場動向や製品の機能などを共有

■ PQA事業のグローバルトレーニング

食品や医薬品の安全・安心を支える品質保証ソリューション(PQA事業)をグローバルに展開するアンリツインフィニス(株)は、海外の代理店向けに新製品のサービストレーニングを実施しています。2018年度は、欧州やアジア地域代理店のサービス員が本社に一堂に会し実施しました。実機を操作しながら製品の特徴やメンテナンスのポイントなどの知識、スキルを習得しました。お客さまに一番近いところで働くサービス員からは、製品に対するお客さまや代理店側の要望が出されるなど、製品開発に役立つ情報交換の場にもなっています。

労働安全衛生

社会課題の背景

労働災害防止とともに、過労死やメンタルヘルス不調が社会問題としてクローズアップされる中で、社員が安心して健康に働くことができる職場環境の実現に向けて、一層の取り組みの推進が求められています。3,700名以上の社員が働くアンリツグループとしても、社員一人ひとりが健康で生き活きと働き、活力のある職場を実現させることで生産性や創造性が向上し、より良い企業活動につながると考えています。アンリツの価値創造の源となる社員の健康を維持し、支えていくことはグループにとっての重要課題であると認識しています。

方針

アンリツグループは、社員一人ひとりが、その資質を最大限に発揮できるよう、社員の安全と健康を第一に、快適で生き活きと働くことができる職場環境づくりを進めていくことが重要であると考えています。それを実現していくために、グループ企業行動憲章では「従業員の尊重」を、グループ行動規範では「職場環境の整備」を掲げ、関係法令を遵守し健康と安全に配慮した、生き活きと働くことができる職場環境を整備することを定めています。

また、社員一人ひとりの健康保持・増進に、会社・健康保険組合それぞれの立場でより積極的に関与していくために、国内アンリツグループを対象とした「アンリツグループ健康経営方針」を定めています。

[アンリツグループ健康経営方針]

アンリツグループは、社員一人ひとりが健康で生き活きと働いていることが、企業価値の源泉であると考えています。全ての社員が健康について関心を持ち、自身の健康上の課題を認識し、健康保持・増進に向けて自律的な取り組みを進めている状態を目指し、アンリツグループ各社とアンリツ健康保険組合が一体となり、健康経営の実現に向けた活動を進めます。